

台風24号による避難所開設についてのアンケートの主な意見と対応

主な意見	対応・報告
各学校園の対応の統一について	平成30年6月18日に発生した大阪北部地震を受けて、平成30年10月4日付けの教育長名における通達において、学校園の対応における非常変災時等の措置について、避難所として開設された場合も含め、大規模災害時初期対応マニュアルに基づき統一化が図られた。
情報収集への対応について	ラジオなどの機器を活用するとともに、お手持ちの携帯電話（スマートフォン）などのSNSも利用していただき直近の情報収集をお願いしたい。
テレビの設置について	現状としては、学校や危機管理室に問い合わせたところ、体育館や講堂にケーブルを引き込んでいるところではなく、体育館や講堂に新たに設置することは予算も含め現実的でないことから、多目的室や視聴覚室等に設置されている既存のテレビモニターを活用することによって情報収集を図っていただけるよう学校園と調整してもらいたいとのことだった。
飲料水や軽食の対応について	風水害等での自主避難所立ち上げ時には、予想進路なども事前に想定できることから、原則ご自身の飲食物についてはあらかじめ準備をしてくださるようお願いしたい。今回の台風24号時も同様の取扱いとした。現在学校に備蓄している物資については突発的に発災する地震におけるものとして想定されていることから、区民の皆さんにおいては、地震のみならず風水害における非常時持ち出し品も備えておいていただきたい。水・毛布などは臨機応変に対応したいと考えているが、今回の様な自主避難の場合などは、個人で準備してもらいたい。
発電機の必要性について	各避難所にあっては、カセットガス式の非常用発電機を配備しており、カセットガス2本で1時間程度の使用が可能となっている。
トランシーバーの活用について	トランシーバーは現在鶴見区内12地域に各4台配備しているので、地域内・避難所内など比較的近距離での使用は可能となっているので十分に活用していただき、区災害対策本部との連絡についてはMCA無線を使用していただきたい。今回の避難所運営に関わって、トランシーバーが役立ったという報告も受けている。
避難所の開設等に関わる周知について	今回の台風24号に関わり自主避難所を開設することとなり、前日には各地域活動協議会会長及び施設管理者にはあらかじめ連絡をさせてもらったが、ご要望も多くいただいていることから、各地域災害救助部長並びに防災リーダー隊長にも一報入れるなど柔軟に対応させていただくよう調整していきたい。

<p>自主避難所開設等の情報周知媒体について</p>	<p>大阪市危機管理室HP・鶴見区ホームページ・フェイスブック・ツイッターなどをはじめとし、青パトや公用車による広報も含め、台風24号の際は消防車両による広報活動の協力も得られたことから引き続き調整を図っていきたい。また、次年度に区役所の公用車・青パトの出力ワット数を増やし消防車両並の音声が出るような機種更新に向け予算要求している。また、各学校園の防災スピーカーもアナログ系からデジタル系へ設置替えしていく予定である。</p>
<p>自主避難所開設に至るプロセスについて</p>	<p>台風24号における自主避難所への避難者数については約100名となっており、開設はしたものの、避難者0名という学校も多数あった。地域からの要望としては、いきなり小中学校を自主避難所として開設するのではなく、地域の福祉会館等も有効に利用し少人数であれば受け入れも可能であると聞いている。ご意見をいただいた通り体育館や講堂に比べ明らかに生活環境も整っており高齢者の方々が一時的に避難するには会館などの方が適しているということは言うまでもなく、今後は、避難者数なども鑑みながら地域の皆さんにもご協力いただきたいと考えている。</p>
<p>その他</p>	<p>今回の台風24号の自主避難所開設にあたり、地域の団結力を改めて確認できた。また、実際避難所を開設することによって地域での日頃の備えの大切さを経験することにより感じる事ができた等の意見もいただいている。</p>